



One Point

ワンポイント

✿ グリーンリボンキャンペーン展開中です! ✿

2009年度のメッセンジャーは、
マラソンランナーの
谷川 真理さんです!



いのちをつないでいきたいから、
いまを精一杯生きる

昨今のニュースや報道を目にすると、私同様、日本の多くの人たちがいま臓器移植について意識しあげているのではないか?こうした出来事をきっかけに「いのち」について、そして臓器移植について自分の問題として一人ひとりが考え、家族や周囲の人たちと話し合い、臓器提供についての意思を表示していただけたらと思います。もちろん、私もそのひとりです。私は「いつ死んでもいいようにいまを精一杯生きること」をモットーにしていますので、仮に自分に何かあったときには移植を待つ人たちへ「いのちの贈りもの」をつなげていきたいと考えていますが、そういう考えをもっているということについて家族などと話したり、意思表示カードなどに書いたりする機会がこれまではありませんでした。万が一のときにそのような自身の思いが伝わらないというのは本当に残念なことです。今後、きちんと自分の意思を表示するとともに、家族や友人、また走ることを通じて出会える人たちに語りかけ、いのちの大切さについて一緒に考えていきたい。そのためにも“いま、この瞬間”を精一杯生き、走り続けたいです。

グリーンリボンキャンペーンサイトで、動画もご覧になれます。 www.green-ribbon.jp



生きるって、なんだろう。いのちって、なんだろう。

移植医療をとおして、

あなたが考えていることを、大切な人と話し合ってみませんか。

声出してはじめて気づく、自分の意思。

相手の声に耳を傾けてはじめて知る、大切な人の気持ち。

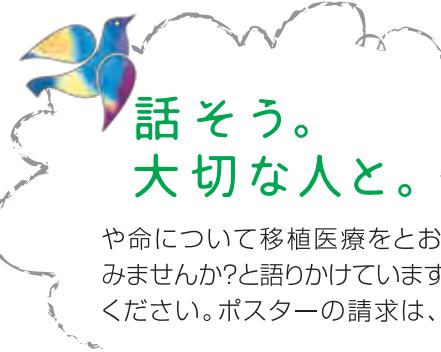
「話し合う」ことから、きっと「助け合う」ことは生まれるのだと思います。

グリーンリボンキャンペーンは、I Thinkから We Talkへ。

臓器提供したい人の想いと、それを待つ人の願いが、もっと出会うために。

提供しないという意思も、尊重されるために。

それは、「ねえ、どう思う?」というあなたのひとことから。



2009年度のグリーンリボンキャンペーンでは、
メッセンジャーの谷川
真理さんが、生きてること
や命について移植医療をとおして大切な人と話して
みませんか?と語りかけています。ポスター掲示にご協力
ください。ポスターの請求は、下記まで。



携帯やパソコンから
臓器提供の意思を
登録しましょう!

ホームページ
<http://www.jotnw.or.jp>

モバイルサイト
<http://www.jotnw.or.jp/m>



臓器提供に関するお問合せ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル3階

携帯電話からは

☎ 0120-78-1069 ☎ 03-3502-2071

<http://www.jotnw.or.jp> にもさまざまな情報が掲載されています。



JOTNW(社)日本臓器移植ネットワーク

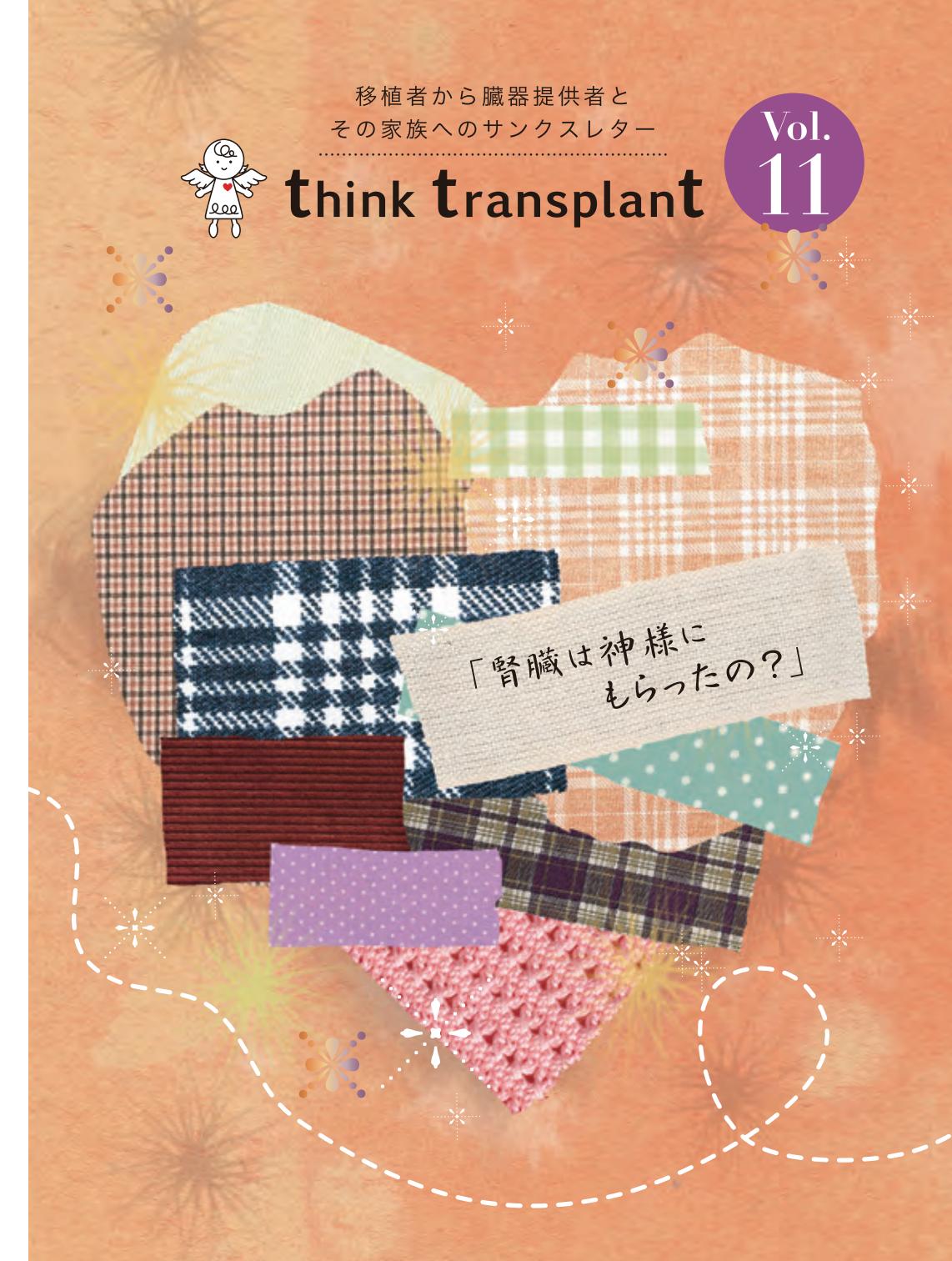
臓器を提供してもよいという人(ドナー)やその家族の意思を生かし、
臓器を提供してもらいたいという人(レシピエント)に最善の方法で
臓器が贈られるように橋渡しをする日本で唯一の組織です。

医療機関の皆様へ

臓器提供意思表示カード・シールに臓器提供の意思を表示している患者さんのご家族から
カード等の提示や「臓器提供についてコーディネーターの話を聞きたい」とのお申し出が
ありましたら、下記フリーダイヤルにてお知らせください。

また、心臓が停止した死後の腎臓提供は、意思表示カード等がなくてもご家族のお申し出だけできますので、ご家族にご希望があればお知らせください。

ドナー情報には、24時間対応しております ☎ 0120-22-0149



移植者から臓器提供者と
その家族へのサンクスレター

think transplant

Vol.
11

【移植者から臓器提供者とその家族への感謝の想いをご紹介します。】

腎臓移植を受けた女児のメッセージと 母親のサンクスレター

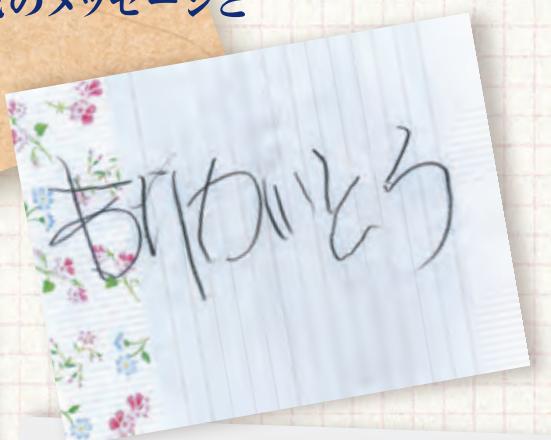
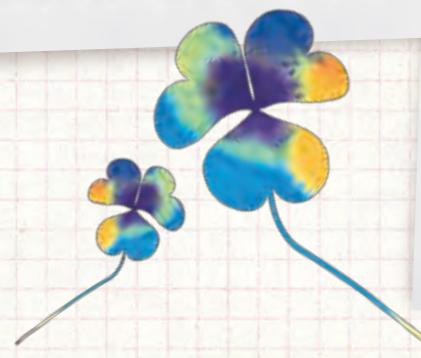
提供して下さった方、そしてご家族のみな様へ
拝啓、おひな様の季節となりました。
いつもお邊でいきょうかで

古希1年前、娘に適合するドナーを見つかりました。ご病院
から連絡を受けてました。
3月2日～3日に行われた8時間近く手術は、やや手術室
の範囲が広く何目に見えない方に導かれたように無事成功
した感覚です。
その後、大きな迂回道をなく4ヶ月余りの退院まで出来ました。
少しだけ娘について書き下さり。

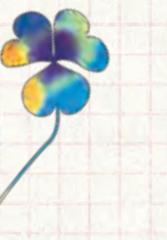
娘は先天性腎不全と診断を受け3年の透析生活を経てなく
されました。その後、3度手術を入院して入院してから元気に
日常生活にも制限を受ける間の通院がご家庭には
痛みや辛さ、ストレスなど負担が大きくなりましたが、
それでも大変な日々を乗り越えてきました。

それが生後6ヶ月腎臓移植のお手配を頂き整備検査と5ヶ月
の事がた。

娘は入院中本当に「腎臓は家中本屋にもらったから」と聞いた
ことがありました。小さな良い事を受け止め理解していることに
喜んでおられました。でも娘は家中本屋にお手配を書かれて
いました。



腎臓移植を受けた女児のサンクスレターと 刺し子で作ったハンカチ



同封されていた
ハンカチ
(原寸は30cm大)



肺移植を受けた40歳代女性の サンクスレター

桜 満開のあの日から、一年目を迎えることが出来ます。
ありがとうございます。

今、術後一年目の検査の為病院にいます。

ドナー様の御家族様にお手紙を書こうと、病室でこの一年を振り返っています。
日々を過ごすにつれどのようにお礼を申し上げればよいのか...

考えても言葉では言い表せない大きな感謝の気持ちでいっぱいになります。

経過はとても順調で、とても楽しく充実した毎日を過ごしています。

6月に退院してから...体力作りの為の掃除機かけと散歩を日課にしています。
今まででは辛くて母任せだった掃除機かけが楽に出来るようになりました。

散歩は、家の近所を30~40分。今まででは、2階の我が家から下に降りるだけで息切れがし、
辛かったので信じられない距離です。

しかも、酸素ボンベを持たず、景色を見ながら、季節を感じながら歩く余裕も出来ました。
普通に歩けることが夢のように嬉しいです。

夏には近くに花火が綺麗に見える所があるので、今まで車で行っていた道のりを、
歩いて見に行きました。

秋にはコスモス畑に紅葉。毎年見に行く景色ですが、今までとは違う感じがしました。

今年も見えたこと。そしてこんなに元気になっていること。

来年ももっと元気になって見に来ようと思えました。

階段を上っても、話しながら動いても息が切れない私を見て、家族はしみじみと...
「しんどくないんやね」と驚いています。

そして、今年の2月からはアルバイトを始められるまでになりました。

週に4日間。1日4時間働いています。

歯科助手で立ち仕事なので、体がついていくか...少し不安もありましたが、
始めて2ヶ月、周りの人に助けてもらいつながら無理なく続けられています。

今年は体力に自信がついてきたので、初めての一人旅に挑戦してみたいなと思っています。
術前の秋に妹と行った広島、宮島がとても印象深かったので、

もう一度今度は酸素ボンベなしで、ゆっくり訪れてみたいです。

こんな風に...毎日を過ごせていることを、心から感謝しています。

どうもありがとうございます。

いただいた命を大切に。一日一日を大切に、新しい一年をさせて行きます。

4月5日に家族みんなで京都を訪れ、ドナー様、ご家族様のことを想いながら桜の中を歩きました。
これはその時の桜の花です。(桜の花びらがお手紙に同封していました)

